



平成 29 年 12 月 4 日
報道発表資料

川崎市の地球温暖化対策の取組が環境大臣表彰を受賞！

低炭素化に貢献する川崎発の製品・技術を認定する「低CO₂川崎ブランド」の取組が評価され、「低CO₂川崎ブランド等推進協議会※」が、本日、平成29年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰（対策活動実践・普及部門）を受賞しましたのでお知らせします。

当該部門での受賞は、川崎市内の団体としては平成22年度以来、7年ぶりの受賞になります。

※ 低CO₂川崎ブランド等推進協議会（会長：足立芳寛）：川崎市、川崎商工会議所、公益財団法人川崎市産業振興財団、特定非営利活動法人産業・環境創造リエゾンセンター、川崎信用金庫で構成

1 表彰制度の概要

環境省が地球温暖化対策を推進する一環として、平成10年から毎年、地球温暖化防止月間である12月に、地球温暖化防止に顕著な功績のあった個人又は団体に対しその功績をたたえるものです。

平成28年度は、①技術開発・製品化部門、②対策技術先進導入部門、③対策活動実践・普及部門、④環境教育活動部門、⑤国際貢献部門の5つの部門があり、40の個人・団体が表彰されました。

2 受賞理由

平成21年度から8年間の取組により、35社70件の製品等を認定しました。認定製品による温室効果ガスの削減効果は、平成24年度から平成26年度までの3か年で累計約800万トンCO₂となり、平成26年度における川崎市内の排出量の約1/3の量に相当します。

また、大企業は環境に配慮した企業としてブランドをPRに活用し、中小企業は認定製品等の販路拡大のためのツールとしても活用するなど、ライフサイクル全体に視野を広げた温室効果ガス排出量の削減の取組を普及させてきました。



とかしき環境副大臣から
表彰状・トロフィーが授与されました
(イノホール&カンファレンスセンターにて)
(写真左：とかしき環境副大臣、右：足立会長)

上記の写真以外にも、提供素材がございますので、お気軽にお問合せ下さい。

<問い合わせ>

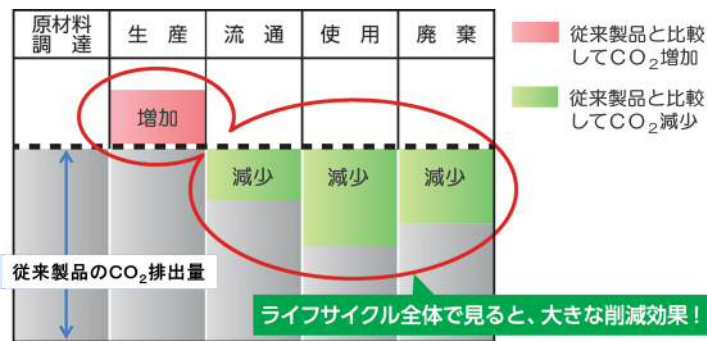
低CO₂川崎ブランド等推進協議会事務局
川崎市環境局地球環境推進室 鈴木、中松
電話 044-200-3872
FAX 044-200-3921
メール 30titan@city.kawasaki.jp

<低CO₂川崎ブランドとは>

製品などのライフサイクル（原材料調達から生産、流通、使用、廃棄まで）の各段階で排出されるCO₂などの温室効果ガスの合計量が、従来までの製品と比べて少なくなっている製品などを低CO₂川崎ブランドとして認定する制度であり、川崎市が平成21年からパイロット事業として取り組んできました。

現在は、川崎市のほか、産業支援団体として、川崎商工会議所、公益財団法人川崎市産業振興財団、特定非営利活動法人産業・環境創造リエゾンセンター、川崎信用金庫を事務局に加え、認定製品などの各種広報物への掲載や展示会への出展、事業者間の交流イベントを開催するなど、これまでに35社70製品を認定しました。

低CO₂川崎ブランドの考え方



ライフサイクルでの排出量削減のイメージ図

【これまでの主なブランド認定製品】



2016年度大賞
宮松エスオーシー株式会社
こんじゃりコン

不要になった生コンクリートを独自技術により、骨材（生コンクリートの原料）に再資源化し、その骨材を用いて製造した生コンクリート



2015年度大賞
味の素株式会社
飼料用アミノ酸「リジン」

バイオ技術を応用して製造したリジン。飼料中のアミノ酸バランスを改善することで、家畜の糞尿の量が減少し、糞尿由来の温室効果ガス排出を削減



2015年度大賞
宙総合研究所株式会社
宙冷却塔用銀イオンシステム

冷却塔の循環水管理方法を薬剤投入に代わり、無公害で安全な銀イオン等によって管理するシステム。循環水の入替えを約50%に抑制



2014年度大賞
三菱化工機株式会社
HyGeiaシリーズ 小型オンサイト水素製造装置

高純度の水素(99.999vol.%以上)を製造する新型高性能小型オンサイト水素製造装置